

提出順	//	発言順	//	令和 3 年 11 月 22 日 午前・午後 9 時 48 分受領
-----	----	-----	----	--------------------------------------

(2枚中No.1)

令和3年11月22日

安曇野市議会議長 平林 明 様

安曇野市議会議員 小林 陽子

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和3年安曇野市議会12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁をを求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	次世代を育てる子育て・教育について		
<p>質問の要旨（具体的に記載してください）</p> <p>次世代を育てることは地域の最重要課題である。子ども自身へのサポートに加え、親や関係者の負担を軽減・分散して、0～18歳までの切れ目ない、健全な養育環境をどう作っていくかが問われる。市長の子育てと教育の方針について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 市長も子育て・教育についても公約でも触れているが、安曇野市の子育て・教育の在り方や現状をどう考え、どのようなビジョンをお持ちであるか。 安心できる養育環境を地域の中で築くには、子の安心、親の安心がともに必要である。家庭や子を取り巻く環境も多様化しており、①待機児童への対応、②子育て広場の設置、③子育ての悩みを親が抱え込まずに相談できる仕組み、④放課後児童クラブの在り方、⑤通学路の安全など、対策が求められるが、いかがか。 また旧来当たり前でも、配慮が必要ではないかと思われる問い合わせが複数あり、固定観念にとらわれない対応が必要であると考えられているか。（お弁当の日／おむつ持ち帰りなど） 18歳未満へ切れ目ないサポートを行うには、一体感の醸成が必要である。具体的には、子ども部の設置はぜひ必要と考えるがどうか。 			

提出順	11	発言順	11	令和3年11月22日
				午前・午後 9 時48分受領

(2枚中No.2)

令和3年11月22日

安曇野市議会議長 平林 明 様

安曇野市議会議員 小林 陽子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和3年安曇野市議会12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	女性・若者がより一層活躍する安曇野にするために		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

先の衆議院選挙では女性議員が減り、依然として日本のジェンダーギャップ指数は世界基準から大きく遅れている。また若者の政治離れや投票率の低さも課題である。男女共同参画や多様な意見を取り入れたまちづくりは掛け声だけでは進まず、仕組みや体制を整えるべきと考える。市長はどのようにお考えか伺う。

1. 女性や若者の活躍については、どのようにお考えか。女性や若者が元気な地域は、地域自体が元気であると言われる。性別や年齢で区切ることが目的ではなく、多様性の実現が必要であり、市長の考えを伺う。
2. 長野県は、女性の就業率が全国平均より高いが、女性経営者率は全国平均よりかなり低い。行政も民間も、女性の視点を取り入れることで、多様なニーズを深掘りし、幅広い課題解決につなげられる期待は高いが、現状をどうとらえ評価しているか。
3. 「ヨソモノ・ワカモノ・バカモノ」が地域活性には欠かせないと言われて久しいが、若い世代の声をまちづくりに活かす取り組みはどうお考えか。先日行われた中学生議会についてもどのように評価しているか。